

農山漁村地域整備計画 事後評価書

計画の名称	山形県漁港漁村整備計画		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	酒田市、鶴岡市、遊佐町
計画の目標	安心な暮らしと漁業活動ができる海岸整備、安全に水産物を供給できる漁港整備、安定した生産量の確保が期待できる漁場整備による水産振興の推進		

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 吹浦漁港において、サンドポケット整備により漁船63隻分の安全に航行・係留のできる泊地の確保 由良地区において、魚礁整備によりイワガキの漁獲量60tの増加 山形漁場において、魚礁整備によりイワガキの漁獲量60tの増加 飛島漁港海岸において、高潮対策により被害想定区域面積1.0haの解消
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考							
	当初現況値 (H〇〇当初)	中間目標値 (H〇〇末)	最終目標値 (H〇〇末)								
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	425百万円	A	425百万円	B	0百万円	C	0百万円	そのほか関連する事業 (D)	0百万円	A：基幹事業 B：関連事業 C：効果促進事業 D：そのほか関連する事業
1. 農山漁村地域整備計画	合計 (A+B+C+D)	425百万円	A1	425百万円	B1	0百万円	C1	0百万円	そのほか関連する事業 (D2)	0百万円	
	合計 (A+B+C+D)		A2		B2		C2		そのほか関連する事業 (D2)		
	合計 (A+B+C+D)		A3		B3		C3		そのほか関連する事業 (D3)		
	合計 (A+B+C+D)		A4		B4		C4		そのほか関連する事業 (D4)		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
第三者委員会である「山形県公共事業評価監視委員会」から意見を聴取し評価を行う	整備計画期間の翌年度
	公表の方法
	ホームページによる公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業													
A 山形県漁港漁村整備計画関係事業													
番号	事業名	事業型	事業箇所名 (地区名)	交付対象 (事業実施主体)	関係市町村名	事業内容	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
							H22	H23	H24	H25	H26		
A1 農山漁村地域整備計画関係事業													
1-1-01	地域水産物供給基盤整備事業		吹浦漁港	山形県	遊佐町	サンドポケット浚渫 V=15,000m ³						75	
1-1-02	地域水産物供給基盤整備事業		由良地区	山形県	鶴岡市	増殖礁整備 A=1.8ha						135	
1-1-03	漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	山形漁場	山形県	鶴岡市、遊佐町	増殖礁整備 A=1.8ha						161	
1-1-04	海岸保全施設整備事業	高潮対策	飛島漁港海岸	山形県	酒田市	胸壁陸間整備 L=55m						54	
(小計)											425		
合計											425		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

1. 安全に水産物を供給できる漁港整備
漁港整備を行ったことにより、漁船の安全な航行・係留が可能となった。
2. 安定した生産量の確保が期待できる漁場整備
漁場整備を行ったが、漁獲サイズになるまで5年以上の期間を要するので、明確な効果発現は現段階では確認できなかった。
しかし、設置した魚礁への着定状況を調査したところ、着実に付着が進んでいることが確認された。
3. 安心な暮らしと漁業活動ができる海岸整備
海岸整備を行ったことにより、高潮に対する被害想定が解消された。

II 定量的指標の達成状況

指標	内容	最終目標値	最終実績値	目標値と実績値に差が出た要因	達成状況
		63 隻	63 隻	目標値と実績値に差が出た要因	
指標1-2	魚礁整備によりイワガキの漁獲量60tの増加。	最終目標値	60.0 t	目標値と実績値に差が出た要因	イワガキの生育に5～10年必要なので、今後追跡調査を実施する予定。
		最終実績値	- t		
指標1-3	魚礁整備によりイワガキの漁獲量60tの増加。	最終目標値	60.0 t	目標値と実績値に差が出た要因	イワガキの生育に5～10年必要なので、今後追跡調査を実施する予定。
		最終実績値	- t		
指標1-4	高潮対策により被害想定区域面積1.0haの解消。	最終目標値	1.0 ha	目標値と実績値に差が出た要因	目標値を達成した。
		最終実績値	1.0 ha		

3. 特記事項（今後の方針等）

整備計画の目標を実現するために、県内沿岸地域漁港及び海岸において計画的に事業実施した結果、指標に掲げた目標値をおおむね達成し、事業効果の発現が図られた。今後は、地元漁業者及び漁協と連携を図りつつ経過観察を行いながら、事業効果の検証を継続していきたい。また、安心安全な漁港漁村整備の推進を引き続き進めて参りたい。

【目標ごとの今後の方針】

- ・吹浦漁港において、サンドポケット整備により漁船が安全に航行・係留のできる泊地の確保
安全に水産物を供給できる漁港整備をするため、当該施設等を有効に活用し、漂砂対策等の事業を実施して、漁業者のための漁港環境維持に努めていく。
- ・由良地区において、魚礁整備によるイワガキの漁獲量増加
安定した生産量の確保ができる漁場整備を実施するため、次期長期計画に基づき、地元の要望を汲み取りつつ、水産資源の減少に歯止めをかけるための事業の実施に努めていく。
- ・山形漁場において、魚礁整備によるイワガキの漁獲量増加
安定した生産量の確保ができる漁場整備を実施するため、次期長期計画に基づき、地元の要望を汲み取りつつ、水産資源の減少に歯止めをかけるための事業の実施に努めていく。
- ・飛島漁港海岸において、高潮対策による被害想定区域面積の解消
近年、地震津波に対する数値が見直され、防災・減災に対する県民の要望も高くなっていることから、今後も安心な暮らしと漁業活動ができる海岸整備に努めていく。